

# 東部地区

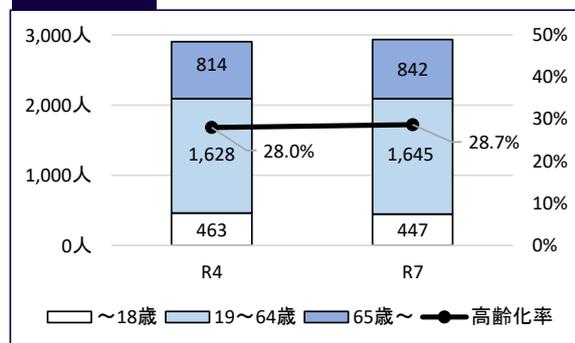
## ◆概要

	【位置図】	まち協名	東部地区まちづくり協議会		
		所在地	亀山市阿野田町3497	電話	0595-83-3119
		地区構成	管内町 阿野田町 北鹿島町 南鹿島町		
		地域特性	亀山市の南東に位置し、北鹿島町、南鹿島町、阿野田町、管内町の4町で構成され中央を鈴鹿川が流れています。北鹿島町・南鹿島町は、県道28号と関西本線、鈴鹿川に挟まれており、鈴鹿川以南には、阿野田町が広範囲に位置し、二本松団地を中核にした二本松地区、更に東には、管内町と樺野、中野地区が配置する形態で構成しています。住宅と農地が多く、工場・トラックステーション等が点在しています。		
面積	410.5ha	ホームページ	<a href="http://www.tobumachikyo.wordpress.com/">http://www.tobumachikyo.wordpress.com/</a>		
めざす姿	我がまちが居心地よく楽しい生活を維持し、将来に渡って豊かさを享受できるまち				
地域の誇り	長い歴史の中で大切に引き継がれてきた郷土芸能と文化				
今年度のテーマ	若い世代の積極参加を促す行事と世代間協力で地域の安心・安全を推進				

## ◆人口

	令和4年	令和7年	増減
総人口	2,905人	2,934人	29人
人口密度	7.08人/ha	7.15人/ha	0.07人/ha
65歳以上	人口 814人	842人	28人
	比率 28.0%	28.7%	0.7%
18歳以下	人口 463人	447人	-16人
	比率 15.9%	15.2%	-0.7%
外国籍	人口 150人	242人	92人
	比率 5.2%	8.2%	3.0%

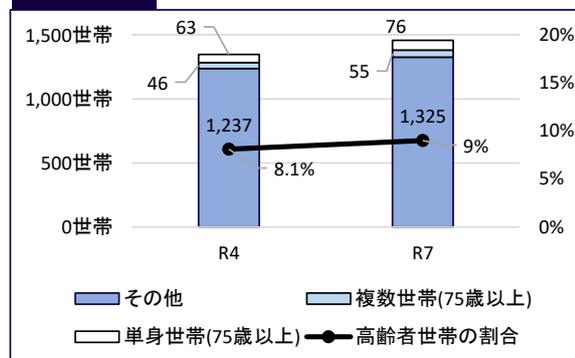
## ◆人口推移



## ◆世帯

	令和4年	令和7年	増減
総世帯	1,346世帯	1,456世帯	110世帯
単身世帯 (75歳以上)	63世帯	76世帯	13世帯
複数世帯 (75歳以上)	46世帯	55世帯	9世帯
高齢者世帯割合	8.1%	9.0%	0.9%

## ◆世帯推移



## ◆介護保険認定者

	令和4年	令和7年	増減
要支援1.2	57人	54人	-3人
要介護1～5	91人	97人	6人
合計	148人	151人	3人

## ◆地域組織

	令和4年	令和7年	増減
自治会	14	14	0
老人クラブ	1	1	0
子ども会	0	0	0

◆福祉・医療・教育等に関する社会資源

民生委員・児童委員	3
主任児童委員	1
福祉委員	29
介護保険施設・事業所	1
サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム	0
障がい福祉施設・事業所	0
児童福祉施設・事業所	2
病院・一般診療所	1
歯科診療所	1
薬局	1
保育所	0
幼稚園	0
認定こども園	0
放課後児童クラブ	0
放課後子ども教室	0
子育て支援センター	0
学校(小・中・高)	0
乗り合いタクシー停留所	19

◆担当地域包括支援センター

亀山第1地域包括支援センター ぼたん

◆サロン活動

	令和4年	令和7年	増減
ふれあい・いきいきサロン	3	3	0
子育てサロン	0	0	0
コミュニティサロン	0	1	1

◆福祉委員会活動

◆構成員 民生委員・児童委員 福祉委員 老人会長

◆活動内容

【交流活動】  
三世代交流事業のマラソンソフトボールやまち協事業として文化演芸大会を開催し、子どもから高齢者のふれあい活動を行っています。

【訪問活動】  
75歳以上の高齢者見守り活動を年3回行っています。



文化演芸大会



老人球技大会

◆まちづくり協議会の恒例事業

- ・青壮年マラソンソフトボール大会
- ・交通安全・防災講座
- ・敬老会
- ・文化演芸大会
- ・老人球技大会
- ・環境講座
- ・干支づくり
- ・プラ板づくり

◆生活支援コーディネーターからのコメント

東部地区の人口は2,934人で、そのうち28.7%にあたる842人が65歳以上です。地域内1,456世帯のうち、9.0%にあたる76世帯が75歳以上のみで構成されています。また、地域内人口の8.2%にあたる242人が外国籍です。

地域の特色として、中学生が地域の活動でボランティアとして活躍するなど若い世代の積極的な行事への参加を進めています。

地域の活動では、恒例行事のマラソンソフトボール大会をバーベキュー大会と同時に開催したり、R7年度は、雨天中止となりましたが、文化演芸大会では中学生が司会や飲食ブースの手伝いを担当するなど若い世代も行事に参加できる環境をつくることで地域のコミュニケーションの活性化を図っています。また、地区によっては高齢者の見守り訪問に小学生が参加したり、高齢者が登下校時に子どもの見守りを行う等、世代を超えた取り組みが地域の安心・安全につながっています。今後も様々な世代が協力しながら活動を展開し、住民同士の日常的な顔の見える関係が深まることが期待されます。